

## 再評価結果（平成21年度継続箇所）

担当課：道路局 有料道路課

担当課長名：上野 進一郎

事業名	近畿自動車道 紀勢線 ごぼう みなまなべ 御坊～南紀田辺	事業区分	高速自動車国道	事業主体	国土交通省及び 西日本高速道路(株)
起終点	自) わかやまけんごぼうしのぐち 和歌山県御坊市野口 至) わかやまけんたなべしいなりちょう 和歌山県田辺市稲成町			延長	27km
事業概要					
近畿自動車道尾鷲勢和線と一体になり紀伊半島を一周して大阪と名古屋を結ぶ幹線道路として沿線地域の産業・経済・文化の発展に重要な役割を果たすものである。					
H5年度事業化	H8年度 都市計画決定(みなべ～南紀田辺)	H8年度用地着手	H9年度工事着手		
全体事業費	1,970億円	事業進捗率	62%	供用済延長	27km
計画交通量	約9,900台/日～約13,100台/日				
費用対効果 分析結果 (有料)	B/C (事業全体) 1.3  (残事業) 1.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 417/2,266億円 事業費：384/2,036億円 維持管理費：33/230億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 447/3,035億円 走行時間短縮便益：440/2,485億円 走行費用減少便益：3/380億円 交通事故減少便益：4/171億円	基準年 平成21年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施					
交通量変動： B/C = 1.2 (交通量 +10%)      B/C = 1.0 (交通量 -10%)					
事業費変動： B/C = 1.2 (事業費 -10%)      B/C = 1.0 (事業費 +10%)					
事業期間変動： B/C = 1.1 (事業期間 -1年)      B/C = 1.0 (事業期間 +1年)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性ある地域の形成(主要な観光地へのアクセス向上が期待される)</li> <li>・安全で安心できるくらしの確保(三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる)</li> <li>・災害への備え(緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する) 他14項目に該当</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
紀勢線は、和歌山県の発展、自立のため必要不可欠な道路であるとともに、東南海・南海地震の備えや救急医療活動の観点からも極めて重要であることから、和歌山県、地元市町村、県議会議員などより4車線化の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
平成15年12月御坊～みなべの暫定供用以降、交通量は増加し、平成19年の平均交通量は10,800台/日であり、平成17～19年に渋滞が57回発生している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
4車線の用地取得が完了し、暫定2車線にて供用中。残事業の内容は4車線化工事。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
暫定2車線にて供用中であり、4車線化工事の進捗を図る予定。					
施設の構造や工法の変更等					
新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は満たしており、事業実施の目途が立っている。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。